

新潟県妙高市の高校生とスロベン・グラデッツ高校との交流行事が行われました。

2012年10月18日から24日にかけて新潟県妙高市の高校生が姉妹都市関係にあるスロベン・グラデッツ市を訪問し、ホームステイによる生活体験、ホストファミリーとの交流、スロベン・グラデッツ高校での授業参加・ディスカッション、ボランティア体験を行いました。そして、最終日には、石樽大使、Čas Andrej スロベン・グラデッツ市長、入村妙高市長が参加のもと、交流式典、日・スロベニア外交関係樹立20周年記念植樹式が行われました。同式典では、両校生徒による楽器演奏の歓迎に始まり、各来賓の挨拶、記念植樹が行われました。石樽大使は10年間以上に及ぶ両都市間の交流を称え、共に今回植樹する桜が両国間友好のシンボルとなることに対する期待を伝え、Čas Andrej スロベン・グラデッツ市長からはこれからはこれからも両都市間の交流を市としても支えていきたい旨が伝えられました。また、入村妙高市長からは若い世代の友好親善が次の世代にも受け継がれ、より深い「絆」が結ばれることに対する期待が伝えられ、そして Berzelak Stane 校長より両都市間の交流を支えてくれている関係者への謝辞が述べられました。記念植樹式では、スロベン・グラデッツ高校の学生による日本の歌の合唱が行われ、石樽大使、Čas Andrej スロベン・グラデッツ市長、入村妙高市長による桜の苗木の植樹が行われました。なお、同式典の様子はTV局2局、ラジオ局2局、新聞社1社でも紹介されました。

